

2014年12月26日

報道関係各位

株式会社 椿本チエイン

EV電力システム「つばき eLINK[®]」

三菱自動車のプラグインハイブリッド車「アウトランダーPHEV」と接続し、
施設やビルディングとの相互電力供給が可能になりました

株式会社椿本チエイン（本社・大阪市北区、社長：長 勇）は、2013年にEV電力システム「つばき eLINK」を発売。V2H^{*}対応の電気自動車（EV）の急速充電コネクタを通じて、EVとビルディング、工場などの電力網を双方向につなぐEV電力システム（V2H機器）として、公共施設を中心に採用が広がっています。

このたび、三菱自動車工業株式会社は、世界で初めて、プラグインハイブリッド車「アウトランダーPHEV」でのV2H機器を利用した住宅との相互電力供給を可能とし、「つばき eLINK」がさらに多くの方々に利用いただけるようになりました。

※「アウトランダーPHEV」はV2H機器との接続中はエンジンが作動しない仕様です。

*：V2H=Vehicle to Home の略

*「eLINK」は当社の登録商標です。

*「アウトランダーPHEV」は三菱自動車工業株式会社の商標です。



EV電力システム「つばき eLINK」(左)と三菱自動車「アウトランダーPHEV」(右)

系統連系ができる双方向インバータを内蔵した「つばき eLINK」は、V2H対応EVから交流給電ができるEV電力システムです。施設への給電、EVへの充電を制御できる上、給電割合や充電時間など設定に従い、給電と充電をスマートに制御します。

※国の補助金制度が適用されます（「次世代自動車充電インフラ整備促進事業」補助金対象機種）

「アウトランダーPHEV」の詳しい情報は、三菱自動車工業株式会社ホームページをご参照ください。

http://www.mitsubishi-motors.com/publish/pressrelease_jp/corporate/2014/news/detail4853.html

【参考資料】

「つばき eLINK」について

1. 特 長

- (1) 給電には2つの運転モードがあり、災害時、平常時にそれぞれ下記の運転を行います。
- ①停電時（災害等）：非常用電源として活用できます。EVから「つばき eLINK」を介して分電盤に電力を供給します。これにより、停電時でも照明、テレビ、情報端末など接続されている電気機器が使用できるようになります。
 - ②平常時：系統連系により、電力需要のピーク時間帯にEVからの給電を加えることができ、電力不足時の消費電力のピークカットに貢献します。
- (2) 建物のエネルギー管理システム（Energy Management System）との通信により、モニタリング（可視化）およびリモート操作（電力制御）が行えます。

2. 仕 様

給 電	・電圧：単相3線 AC200V ・周波数：50/60Hz ・出力：5kW（力率1.0時）、 逆潮流なし （非常用電源では 系統から切り離します）
充 電	・電池電圧：DC450V 未満 ・出力：4.5 kW



3. 用 途

災害時などの非常用電源の備えや、消費電力のピークカットのニーズがある施設に最適。
公共施設（自治体など）、マンション、福祉施設・介護施設、オフィスビル・商業施設など。

4. 納入実績 横須賀市の行政センター、川崎市の区役所出張所など

5. 価格・納期 都度見積



※この新商品は、当社独自で設定したエコ評価基準をクリアした商品です。

●本件についてのお問合せ先

株式会社椿本チエイン

社長室 広報・IR課 担当：和田・野口
TEL 06-6441-0054 FAX 06-6441-0203

E-mail：pr-sec@tsubakimoto.co.jp

〒530-0005 大阪市北区中之島3-3-3 中之島三井ビルディング